



頑の浦学園だより



No.18

2021年(令和3年)1月7日

明けましておめでとうございます!

～一人一人が元気で挑戦・飛躍の年に!～

どうぞ、今年もよろしくお願い致します。

今日から3学期がスタートしました。新しい年になりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらない状況にあります。感染予防の徹底には引き続き取組を続けますので、本年もご理解ご協力を宜しくお願い致します。

ところで、冬休みを迎える2学期の終業式には、各学級を回って次の話をしました。学年に応じて私なりの言葉で伝えましたが、話した内容の柱はおおむね次の通りです。

「元気で挑戦すること、挑戦し続けること!」“Never Give up!”

- ・自らの限界を自分で決めない。
- ・自らの甘さや弱さに負けるな。
- ・自らの将来を考え、努力せよ、夢中になれ!
- ・頭から煙がモクモク出るくらい考え、行動し、夢中になれ!



人は誰でも、何かをしようとした時、上手くいかない時があります。そうしたことが積み重なってくると、自分はダメなのではないかと考えています。自分の限界がどこにあるのか誰も分からないのに、「どうせ、自分はやっても・・・」になってしまうと次に進めなくなります。

失敗から学ぶことをモットーに元気で挑戦する。そして元気で挑戦し続けることは素晴らしいと実感できるようにしたいと考えています。努力は義務感から始まる時もありますが、ワクワクしながら夢中になれると、やっている事が自分のものになります。

ある9年生が1学期に書いた作文が心に残っています。作文のタイトルは、「自分に挑戦」でした。作文の中に「自分の壁は、自分自身かもしれない。」この生徒は、将来なりたい自分の姿を描いた時、このことを実感しています。人間の弱さ、人間の本質を突いた言葉を生徒はつかんでいます。

今日の始業式も、学級を回って子ども達の姿を確認しながら新年の気持ちを大切にしてほしいこと、元気で頑張ろう、挑戦しようとする気持ちを大事にしてほしいことを話しました。私たち大人も言い訳をせず元気で挑戦すること、挑戦し続けることにこだわりたいものです。

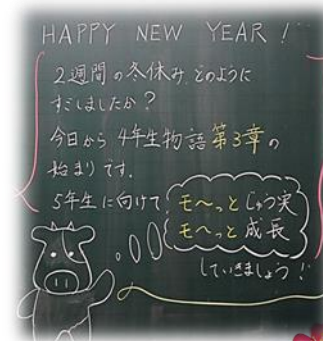
子どもは、困難を乗り越えるパートナー!大人の役割は、・・・

先日、新聞に掲載されていた教育評論家尾木直樹さんの話の中に「子どもは守るものとする人が多いが、困難を乗り越えるパートナーになり得る。支えるのは周囲の大人の役割だ。」という言葉が書いてありました。

本日、無事3学期をスタートできたのは、子どもたちを笑顔で迎える教職員だけでなく、地域や保護者の方の支えがあってこそだと実感しています。



子ども達が気持ちよく過ごせる掃除の行き届いた教室!



子ども達の元気になる温かいメッセージやイラスト!

大人の役割は、子どもを支える!



毎日、学校の周りを掃除してくださる右下さん。感謝です!



子ども達の「安心・安全」をいつも支えてくださっている保護者やボランティアのみなさん。いつもありがとうございます!



長い間、四つ角で子ども達の安全を守ってくださっていた交通指導員の稲葉繁人さんが、昨年11月末にお亡くなりになりました。これまで子ども達を温かく見守ってくださった稲葉さんに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

四つ角は交通量が多いため、現在3名の保護者の方が交替で見守りをしてくださっています。地域や保護者の方に支えられて、子どもたちが安全に登下校できています。

以前お知らせした学校坂下と合わせて、四つ角での交通指導をしてくださる交通指導員を募集しています。ご協力をよろしくお願い致します。

